

## 青ヶ島の火山活動解説資料（令和6年4月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・ 噴気など表面現象の状況（図1、2）

尾山展望公園監視カメラ（丸山の北北西約1km）は障害により欠測中のため、丸山西斜面とカルデラの西側内壁の地熱域の状況は不明です。手取山監視カメラ（丸山の北北西約1km）による観測では、噴気は認められません。

20日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、島周辺の海域における変色水等、特異事象は認められませんでした。

#### ・ 地震や微動の発生状況（図3-①）

青ヶ島付近を震源とする火山性地震、火山性微動は観測されていません。

#### ・ 地殻変動の状況（図3-②、図4）

地殻変動観測では、火山活動によるとみられる特段の変化は認められません。



図1 青ヶ島 丸山周辺の状況（4月29日 手取山監視カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)

次回の火山活動解説資料（令和6年5月分）は令和6年6月10日に発表する予定です。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、海上保安庁、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています。



図2 青ヶ島 20日の状況

・20日に海上保安庁が実施した上空からの観測では、島周辺の海域における変色水等、特異事象は認められませんでした。

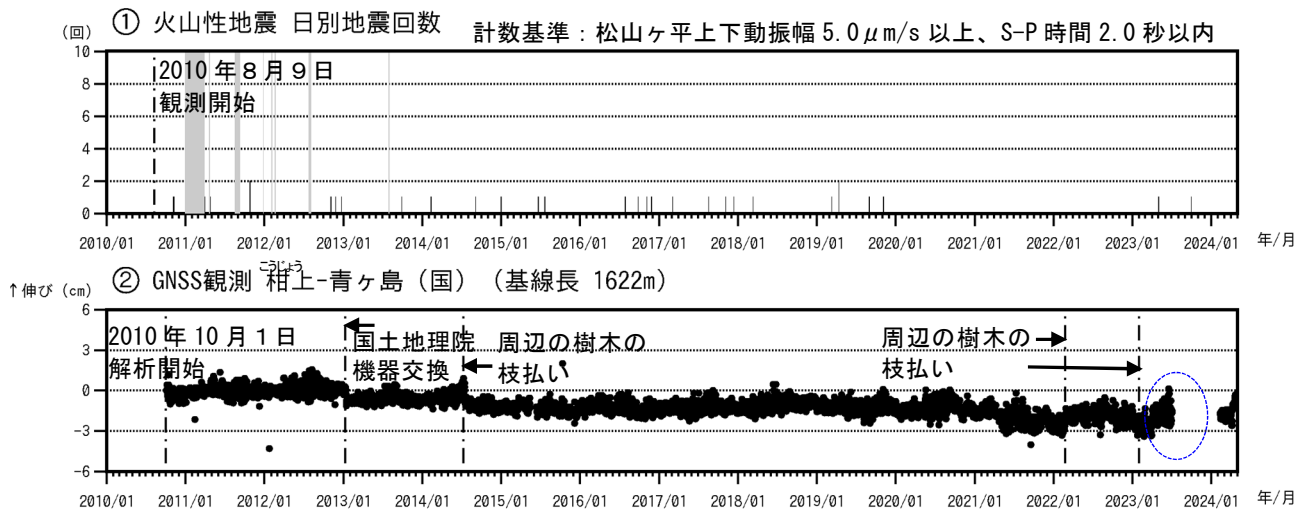
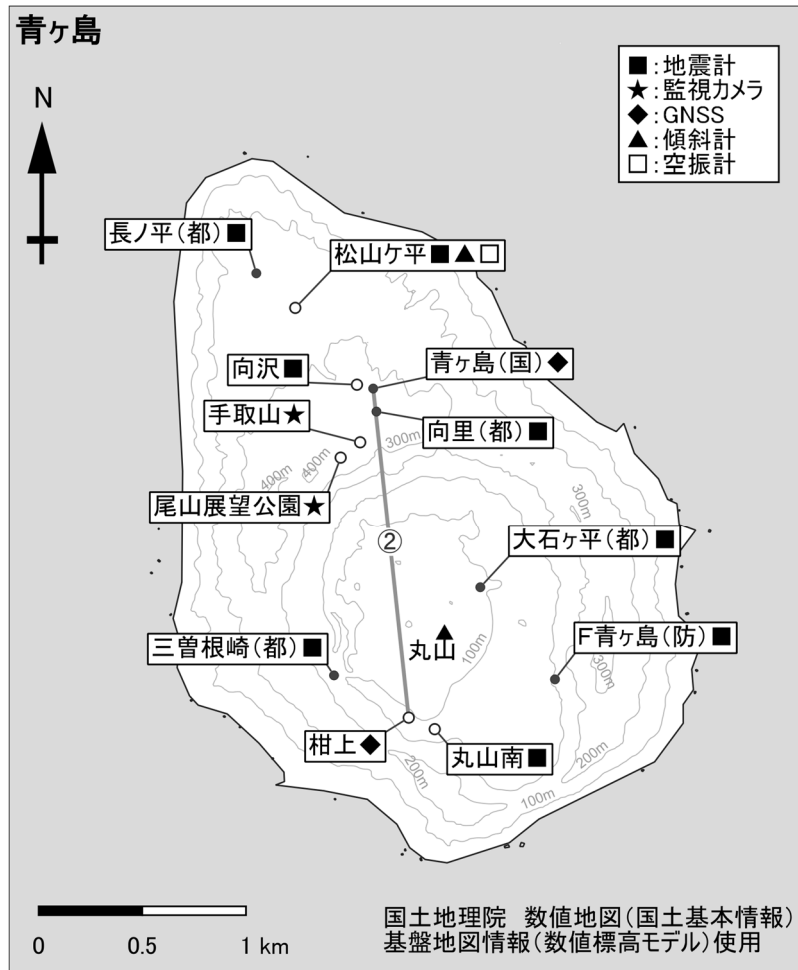


図3 青ヶ島 火山活動経過図（2010年8月9日～2024年4月30日）

- ① グラフの灰色部分は機器障害による欠測を示す。
- ② （国）：国土地理院、図4のGNSS基線②に対応。グラフの空白部分は柑上の障害による欠測を示す。
  - ・青破線で囲んだ変化は原因不明の変化ですが、火山活動によるものではないと考えています。



小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
(国): 国土地理院、(防): 防災科学技術研究所、(都): 東京都

図4 青ヶ島 観測点配置図  
GNSS 基線は図3の②に対応しています。